



TITLE:

現代支那名家著作目録(五) 傅斯年

AUTHOR(S):

三國谷, 宏

---

CITATION:

三國谷, 宏. 現代支那名家著作目録(五) 傅斯年. 東洋史研究 1937, 2(5): 501-502

ISSUE DATE:

1937-06-20

URL:

<https://doi.org/10.14989/138752>

RIGHT:

# 現代支那名家著作目錄

(五)

## 傅斯年

字は孟眞。山東聊城の人。光緒二十二年（一八九六）生る。民國七年北京大學文科在學中、陳獨秀の主幹する「新青年」に投稿、文學革新運動に加はる。八年春、同學有志と共に雜誌「新潮」を起し、その編輯主任となる。漸く重加する反動と抗し、更に文學革命、白話文を鼓吹す。次で「五四運動」の勃發するや、その學生運動の中心人物たり。同年遂に北京大學を去り、外國に留學、倫敦大學・伯林大學に史學を修め、十五年歸國、廣州國立中山大學文史系主任に任ぜらる。國立中央研究院歷史語言研究所の成立するや、その專任研究員となり、所長を兼ね現在に及ぶ。研究所在任中、北京大學史學系に史學方法論を講ぜしことあり。

王國維之宋元戲曲史	新潮	一、一。	八、一、一。
馬叔倫之莊子札記	同	一、一。	八、一、一。
將維喬之論理學講義	同	一、一。	八、一、一。
清梁玉繩之史記志疑	同	一、一。	八、一、一。
宋郭茂倩之樂府詩集	同	一、一。	八、一、一。
中國文學史分期之研究	同	一、一。	八、一、一。

宋朱熹的詩經集傳和詩序傳	同	一、四。	八、四、一。
清代學問的門徑書幾種	同	一、四。	八、四、一。
評秦漢統一之由來及戰國人對於世界的想像	中山大學語歷研究所週刊	一、三。	六、一、六。
論孔子學說所以適應秦漢以來的社會的緣故	中山大學語歷研究所週刊	一、六。	六、一、六。
評春秋時的孔子和漢代的孔子	同	一、七。	六、一、七。
與顧頡剛論古史書	同	一、三。	七、一、三。
同	同	二、四。	七、一、三。
關於葛洪古家的通信	同	三、其。	七、五、九。
周頌說 附論魯南兩地與詩書之來源	中央研究院歷史語言研究所集刊	一、一。	七、十。
歷史語言研究所工作之旨趣	同	一、一。	七、十。
戰國文籍中之篇式書體	同	一、二。	九、
大東小東說 兼論魯燕齊初封在成周後乃東遷	同	二、一。	九、二。
姜原	同	二、一。	九、二。

論所謂五等爵

同 二、一。 九、三。

明世祖生母記疑

同 二、四。 九、

新獲卜辭寫本後記跋

國立中央研究院歷史語言研究所安陽發掘報告 二。 九、七。

本所發掘安陽殷墟之經過

同 二。 九、三。

周東封與殷遺民

中央研究院歷史語言研究所集刊 四、三。 三。

夷夏東西說 蔡元培六十五歲記念論文集下。 四、一。

單行本

東北史綱 初稿 第一卷古代之東北 二、十。

傳斯年的初期の著作、文學革命運動、白話文に關する論文  
評論は雜誌「新青年」「新潮」に夥しけれども、本目錄には  
略せり。

(三國谷 宏)

「汪古部の一解釋」(前號一)正誤  
(元頁所載)

頁	行	誤	正
六、十一	existet	誤	existed
六、十三	Mungul	Mungul	Mungul
六、十四	Mungul	Mungul	Mungul
二、十二	一部派	一部族	一部族
三、十六	韃靼	韃靼	韃靼
二、二	卷二五	卷一五	卷一五
一六、一	平穩である	平穩であるか	平穩であるか
一七、五	僕固懷恩	僕固懷恩	僕固懷恩
二、八・九	鉄勒傳	鉄勒傳	鉄勒傳
三、一	且防	邊防	邊防
三、註8	四子部落傳	四子部落條	四子部落條
三、註13	P. 48. n. l.	P. 84. n. l.	P. 84. n. l.
同	田中博士が契丹と譯されてゐるのは妥當でなく、	之は筆者の誤解に就き謹んで訂正す。博士の譯文には、契丹(金)とある。	
二七、註20	Inscript.	Inscript.	Inscript.
同	sakiz oruz	sakiz oruz	sakiz oruz
二六、註25	振武軍	寇振武軍	寇振武軍